

熊本県伝統工芸館 指定管理者 平成28年度 管理運営評価票

商工観光労働部観光物産課

**I 施設の管理概要**

指定管理者名	一般財団法人熊本県伝統工芸館	
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	
施設概要	設置目的	本県の伝統的工芸品産業の振興及び発展を図る
	施設区分	伝統的工芸品等の展示・販売施設 名称：熊本県伝統工芸館 施設規模：敷地面積4,094㎡ 鉄筋コンクリート造（地上2階、地下1階）
指定管理料	107,257,400円	（災害復旧事業費を含む）

**II 管理運営の評価**

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
年間総入館者数	150,000人	140,481人	
販売売上	46,500千円	42,696千円	
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 入館者数は、熊本地震に伴う休館や貸展示室のキャンセルなどにより入館者が減少し、目標値の93.7%であった。販売売上も目標達成はできなかった。 ※熊本地震に伴う休館 4/15～5/1（17日間）			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	（日常） 通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
	（定期） 年1～3回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保守・点検	（日常） 通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
	（定期） 年2～6回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保安・警備	適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
施設維持管理	適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
災害復旧事業	H28.6月～H29.3月	災害復旧業務仕様書のとおり実施
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 事業計画のとおり実施されており、適正な運営がなされている。 平成28年度は、熊本地震による災害復旧事業を指定管理者が実施。（県委託：29,057,400円）		

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内容
<b>常設展示室業務（常設展示室内での企画展示）</b>			
工芸を透して感じるその時代展	4/1～7/18	1,353人	館収集の工芸品を透し、時代の人々の暮らしに思いを巡らす展示。
第45回日本金工展in熊本	8/2～9/4	1,315人	日本金工会が開催する金工の公募展。

伝統とデザインが未来をつくる展	9/13～10/23	1,152人	職人の知恵、デザイナーが生み出した生活道具。
道具プロジェクト（前期） 「生きるための道具」	10/29～12/15	1,370人	熊本地震復興特別企画。縄文時代に起きた大災害の復興のシンボル「どんぐり」をテーマに展示。
道具プロジェクト（後期第Ⅰ部） 「心の道具」	1/5～2/19	1,004人	熊本地震復興特別企画。心の充足を求める祈りの道具を展示。
道具プロジェクト（後期第Ⅱ部） 「心の道具」	2/23～3/20	609人	熊本地震復興特別企画。祈る道具として「心の布」がテーマの企画。
<b>企画展示室業務（1階展示室における企画展示会）</b>			
<b>&lt;公募展&gt;</b>			
第34回くらしの工芸展2016	11/1～11/6	1,392人	「くらし」をテーマに県内外から作品を公募し、入賞・入選作品を展示・販売。
<b>&lt;産地育成等をテーマとした展示会&gt;</b>			
くまもと工芸夏まつり	8/2～8/7	889人	熊本県伝統工芸協会と共同で、工芸教室を開催。
第3回熊本県伝統工芸協会展	10/18～10/23	1,287人	熊本県伝統工芸協会員の作品展。
東北の工芸支援展volⅢ	11/29～12/4	1,090人	東北工業大学が支援する産地の復興支援展。
装飾古墳とデザイン	1/11～1/15	587人	熊本デザインプロジェクトとの共同開催。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 熊本地震による変更はあったが、概ね事業計画のとおり実施されており、適正な運営がなされている。			

### 3 利用状況

施設名	年計		前年度計	前年度比
	開館日数	利用日数		
2階常設展示室	開館日数	341	358	95.3
	利用日数	260	246	105.7
	入場者数	6,803	10,971	62.0
1階展示室	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	311	358	86.9
	利用率	91.2	100.0	91.2
	入場者数	33,804	44,499	76.0
工房	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	209	237	88.2
	利用率	61.3	66.2	92.6
	入場者数	3,477	3,771	92.2
2階展示室A	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	319	350	91.1
	利用率	93.5	97.8	95.7
	入場者数	21,314	27,126	78.6
2階展示室B	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	318	351	90.6
	利用率	93.3	98.0	95.2
	入場者数	19,372	25,711	75.3
2階会議室	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	30	26	115.4
	利用率	8.8	7.3	120.5
	入場者数	498	490	101.6

和室	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	261	316	82.6
	利用率	76.5	88.3	86.7
	入場者数	15,281	18,344	83.3
地下会議室	利用可能日数	341	358	100.2
	利用日数	125	119	105.0
	利用率	36.7	33.2	110.4
	入場者数	8,131	8,500	95.7
1階ショップ匠	利用日数	291	—	—
	入場者数	31,801	—	—

【点検・調査結果及び評価】

熊本地震の影響により入場者数は減少した。貸展示室は概ね高い利用率である。

※施設入場料や使用料が無料等により、入場(利用者)数が把握できない場合は、「入場者数」欄を削除する等、施設の利用形態に応じて適宜様式は変更すること。

#### 4 管理経費の収支状況

① 収入				
項目	内 訳		金額(円)	
利用料金収入	常設展示室	観覧料	912,030	
	各展示室・会議室	使用料	7,401,290	
指定管理料	県受託金		107,257,400	
運営事業等収入	広告料負担金等		2,756,843	
販売手数料収入	ショップ・ネットショップ販売手数料		13,318,515	
合 計			131,646,078	
			収入未済額	0
			うち利用料金収入分	0

② 支出			
項 目	内 訳		金額(円)
事業費	人件費・消耗品費・光熱水費・修繕費・租税公課等		103,322,486
〃	災害復旧事業費		28,052,379
管理費	役員報酬等		1,362,742
合計			132,737,607

【点検・調査結果及び評価】

本県の伝統的工芸品の発展及び振興のため、企画展の開催や、需要開拓のためのショップ運営、工芸品産地支援などの事業に取り組んでおり、管理運営費は適正に処理されている。

#### 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成28年4月～平成29年3月											
	調査方法	アンケート調査(来場者)											
	調査対象数	570件											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい	よい	普通	あまりよくない	悪い	わからない						
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	職員対応状況	125	22	268	47	148	26	5	1	0	0	24	4
ショップの品揃え	177	31	262	46	108	19	5	1	0	0	18	3	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が狭い。(多数)</li> <li>・休憩コーナーがあり、ほっとする。</li> </ul>												
【調査結果及び評価】													
アンケートの結果は7割程度が良いと感じており、概ね良いサービスが提供できていると考えられる。今後さらに利用者からの意見を取り入れた取組みが必要である。													

※実際の調査項目に応じて、適宜様式を変更すること。

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特になし	
【調査結果及び評価】	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
なし	
【調査結果及び評価】	

## 8 その他

平成28年度は、全国からの復興支援の声に応え11カ所で復興支援展を行い、本県の伝統的工芸品産業の振興を図った。また、ショップ匠では消費税免税店登録や商品券を導入するなど、入館者や販売増に向けた新たな取り組みを実施した。